

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間（2018年4月～2019年3月）



orient  **ing**

株式会社 オリエントアイエヌジー

長崎県長崎市馬町55番地

2019年6月3日発行

目 次

1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	3
3. 環境負荷及び取組への自己チェック	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営活動	5
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	6
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反 訴訟などの有無	11
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	11

1. 組織の概要

(1) 会社概要

社名	株式会社 オリентアイエヌジー (カブシキガイシャ オリентアイエヌジー)	
設立	1967年 (昭和42年) 10月 18日	
本社所在地	〒850-0022 長崎県長崎市馬町55番地	
	TEL : 095-821-5656 FAX : 095-823-4420	
	URL : http://www.kyushu-orient.co.jp/	
諫早営業所	長崎県諫早市本明町1840番地	
佐世保営業所	長崎県佐世保市瀬戸越4-1370-81	
大村営業所	長崎県大村市須田ノ木町967番地1	
雲仙営業所	長崎県雲仙市瑞穂町西郷甲735番地1	
南島原営業所	長崎県南島原市深江町丁5442-3	
五島営業所	長崎県南松浦郡新上五島町青方郷2101-2	
対馬営業所	長崎県対馬市厳原町久田68-1	
大阪営業所	兵庫県宝塚市社町7-4	
資本金	30,000,000円	
役員	代表取締役社長	中島 靖人
	取締役	中島 洋子
		岩永 千治
		杉本 秀弘
環境管理責任者	設計部課長	口石 敏政
	連絡先	E-MAIL:t-kuchiishi@orient-ing.jp
加入団体	(社)日本測量協会 (社)長崎国際観光コンベンション協会 (社)日本補償コンサルタント協会 (社)ツタワールドボク (社)長崎建築設計事務所協会 (社)全国防災協会 (社)全日本不動産協会	
登録一覧	建設コンサルタント	建28第5830号
	補償コンサルタント	補30第2338号
	測量業者	(10) - 8408号
	地質調査業者	質29第2066号
	一級建築士事務所	第127027号
	宅地建物取引業者	長崎県知事 (1) 第3936号
職員数 (2018年4月)	技術系	44名
	事務系	11名
	計	55名
売上高 (2017.10~2018.9)	609百万円	
延床面積	本社	983㎡

(2) レポートの対象期間

(2018年4月~2019年3月)

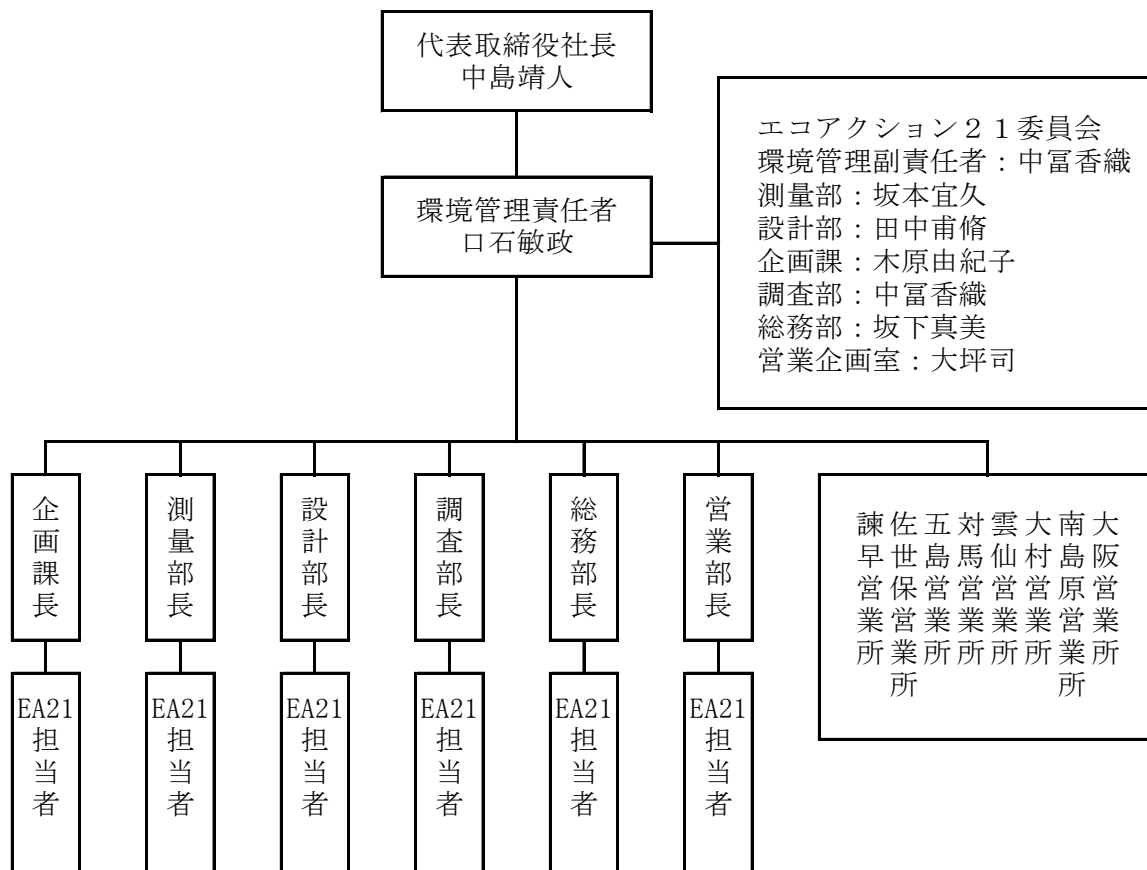
(3) 認証・登録範囲

(当社は全組織・全活動を登録範囲としています)

本社、諫早営業所、佐世保営業所、大村営業所、雲仙営業所、南島原営業所、五島営業所、対馬営業所、大阪営業所

(4)エコアクション21の社内体制

当社のエコアクション21の社内体制は、以下のとおりとする。



担当者	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び従業員へ周知 環境目標、活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を作成 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックのまとめ 環境目標、活動計画書、年間教育・訓練計画の作成 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
エコアクション21委員会 (EA21担当者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標並びに活動計画書原案の作成 所属部門に対する、教育訓練の実施 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 問題点の発見、是正、予防処置 内部コミュニケーションの窓口
各部部長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 自部門の問題点の発見、是正、予防処置のエコアクション21委員会へ報告
社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境経営方針

(1) 基本理念

私どもは、コンサルタントとしての活動の中で、事業の効率化並びに無駄の排除に取り組むことで、自主的、積極的に持続可能な社会の構築に寄与し、環境負荷の低減に努めると共に、継続的改善に取り組みます。

(2) 行動方針

- 1) 二酸化炭素排出量を削減する（電気使用量、ガソリン、灯油等の使用量削減）。
- 2) 廃棄物の削減を推進する。
- 3) 総排水量の削減を推進する。
- 4) グリーン購入を推進する。
- 5) 環境に配慮した設計を行う。
- 6) 環境関連法規や当社が約束した方針は、遵守する。
- 7) 環境方針は全社員に周知する。
- 8) コスト縮減に取り組む。

改訂：2018年4月2日

長崎県長崎市馬町55番地

株式会社オリエントアイエヌジー

代表取締役社長 中島 靖人

3. 環境負荷及び取組への自己チェック

(1) 過去3年間（2016年～2018年）の実績

4月～翌年3月

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	54,852	55,089	49,384
電力	kWh	48,026	49,980	44,730
ガソリン	リットル	12,311	11,735	10,980
灯油	リットル	1,080	828	702
一般廃棄物	kg	1,365	1,165	985
コピー用紙	kg	1,580	1,848	1,516
水使用量	m ³	350	301	318

(2) 環境への取組の自己チェック

総合評価

172

202

2019年4月作成

	評価項目	評価点	満点	実施率
1	事業活動へのインプットに関する項目	104	122	85%
2	事業活動からのアウトプットに関する項目	40	48	83%
3	製品及びサービスに関する項目	21	22	95%
4	その他	7	10	70%

4. 環境経営目標（2017年度～2019年度）

年度は4月～翌年3月

環境目標項目		単位	2013年度 基準値 通年	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量削減	総量		61,942	61,323	60,703	60,084
	kg-CO2/人		1,549	1,426	1,412	1,335
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
電力量削減	総量		55,514	54,958	54,403	53,848
	kWh/人		1,388	1,278	1,265	1,197
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
ガソリン使用量削減	総量		12,886	12,757	12,628	12,499
	リットル/人		322.1	296.7	293.7	277.8
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
灯油使用量削減	総量		1,156	1,144	1,133	1,121
	リットル/人		28.90	26.60	26.35	24.91
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
廃棄物排出量削減	総量		1,095	1,084	1,073	1,062
	kg/人		27.38	25.21	24.95	23.60
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
コピー用紙削減	総量		1,380	1,366	1,352	1,339
	kg/人		34.50	31.77	31.45	29.76
	削減率		-	-1.0%	-2.0%	-3.0%
総排水量削減	総量		350.0	349.7	349.3	349.0
	m3/人		8.75	8.13	8.12	7.76
	削減率		-	-0.1%	-0.2%	-0.3%
グリーン購入 の推進	環境対応品を導入する	品目	不明	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入
	名刺や会社パンフは再生品を活用	品目	未着手	名刺やパンフレットに再生品を活用	名刺やパンフレットに再生品を活用	名刺やパンフレットに再生品を活用
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	実績	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化に取り組む。	実施回数	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
本社 社員数		名	40	43	43	45
稼働日数		日	271	260	260	260

注1) 電力の排出係数は、九州電力の_H29年度実績_排出係数:0.463（調整後排出係数）
長崎地域電力の_H29年度実績_排出係数:0.571（調整後排出係数）

以上を使用する。

注2) コピー用紙は集計を開始した2014年度を基準値とする。

5. 環境経営活動(2017年度～2019年度)

責任者 口石敏政

目標項目		目標値	達成年度	活動内容
CO2 排出量 削減	電力量 削減	3%/3年	2019年度	<p>昼休み時の電気消灯。</p> <p>洗面所未利用時の消灯。</p> <p>階段照明のこまめな消灯。</p> <p>残業時の照明は、必要最小限度とする。</p> <p>個人での電力使用を控える。</p> <p>エアコン設定温度の一定化。</p> <p>不要な蛍光灯・電源の取り外し。</p> <p>よしず等で室内への熱遮断。</p> <p>室内を仕切り、エアコン効率を上げる。</p> <p>エアコン室外機への熱遮断対策など。</p> <p>外出時はパソコン電源OFFを徹底。</p> <p>退社前に、プリンター及びコピー機の電源オフ。</p> <p>パソコンの設定を省電力に変更する。</p> <p>社員のエレベータ使用抑制。</p> <p>エアコンフィルタ、年二回の清掃（6月及び12月）。</p>
	使用燃料 削減	3%/3年	2019年度	<p>急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。アイドリングストップ。</p> <p>長距離移動（県北振興局管内等）の場合、高速道路を利用する。（ETC設置の車に限定）。</p> <p>タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。</p> <p>オイル交換を定期的実施する。</p> <p>灯油消費量の抑制。</p>
廃棄物 排出量 削減 コピー 用紙 削減	使用枚数 削減	3%/3年	2019年度	<p>社内資料はカラーでなく極力白黒にする。</p> <p>印刷前にプレビューして、印刷内容を確認する。</p> <p>コピー機及びプリンターについて、使用枚数を毎月管理し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。</p> <p>古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。</p> <p>古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。</p>
削減 水量 排水	水道使用 量削減	0.3%/3年	2019年度	<p>手洗い水の節水。</p> <p>水洗トイレの節水。</p>
グリーン 購入 購	環境対応品の導入		2019年度	環境対応品を導入する。
自主 社 の 環境 配慮	環境に配慮した 設計を行う		2019年度	環境に配慮した設計を行う。
貢献 地域	1回/1年		2019年度	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

6.1 環境経営目標の実績・取組結果とその評価

環境目標項目		単位	2013年度	2018年度	2018年度	達成率	評価
			基準値	目標値	実績値		
二酸化炭素排出量削減		総量	61,942	60,703	49,384		
		kg-CO2/人	1,549	1,412	1,097		
		削減率	—	-2.0%	-20.3%		
電力量削減		総量	55,514	54,403	44,730		
		kWh/人	1,388	1,209	994		
		削減率	—	-2.0%	-19.4%		
ガソリン使用量削減		総量	12,886	12,628	10,980		
		リットル/人	322.1	280.6	244.0		
		削減率	—	-2.0%	-14.8%		
灯油使用量削減		総量	1,156	1,133	702		
		リットル/人	28.9	25.2	15.6		
		削減率	—	-2.0%	-39.3%		
廃棄物排出量削減		総量	1,095	1,073	985		
		kg/人	27.38	23.85	21.89		
		削減率	—	-2.0%	-10.0%		
コピー用紙削減		総量	1,380	1,352	1,516		
		kg/人	34.5	30.1	33.7		
		削減率	—	-2.0%	9.9%		
総排水量削減		総量	350	349.3	318		
		m3/人	8.750	7.762	7.067		
		削減率	—	-0.2%	-9.1%		
グリーン購入の推進	環境対応品を導入する	品目	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	報告書用ファイルは、環境仕様品を購入	100%	○
自社の製品・サービスに関する環境配慮	環境に配慮した設計を行う	-	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	再生材の利用、環境に配慮した工法の提案	100%	○
地域貢献	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化に取り組む。	実施回数	1回/年	1回/年	2回/年	200%	◎
本社・諫早営業所社員数		名	40	45	45		
稼働日数		日	271	260	260		-

達成率 ◎: 110%以上
○: 109%~100%
△: 99%~90%
×: 90%未満

◇前年度実績値との対比◇

環境目標項目	単位	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量削減	実績値 (kg-CO2)	55,089	49,384
	kg-CO2/日	212	190
	前年比との対比		-10.4%
電力量削減	実績値 (kWh)	49,980	44,730
	kWh/日	192	172
	前年比との対比		-10.5%
ガソリン使用量削減	実績値 (リットル)	11,735	10,980
	リットル/日	45.1	42.2
	前年比との対比		-6.4%
灯油使用量削減	実績値 (リットル)	828	702
	リットル/日	3.19	2.70
	前年比との対比		-15.2%
廃棄物排出量削減	実績値 (kg)	1,165	985
	kg/日	4.48	3.79
	前年比との対比		-15.5%
コピー用紙削減	実績値 (kg)	1,848	1,516
	kg/日	7.11	5.83
	前年比との対比		-18.0%
総排水量削減	実績値 (m3)	301.0	318.0
	m3/日	1.158	1.223
	前年比との対比		5.6%
稼働日数	日	260	260

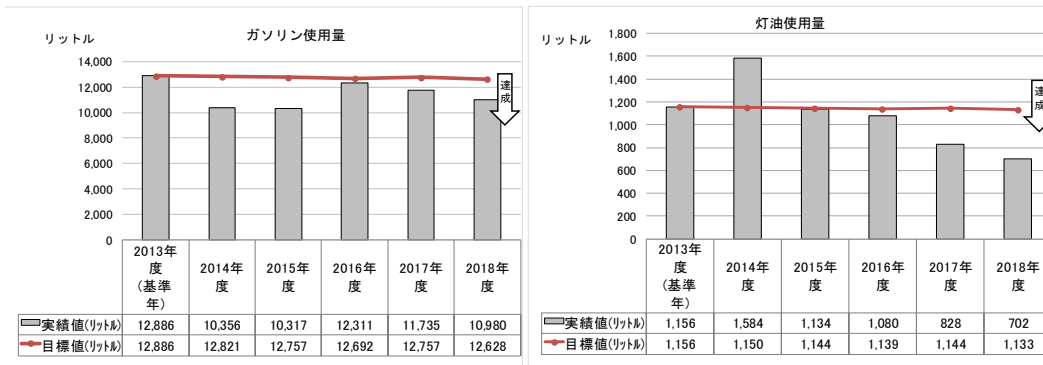
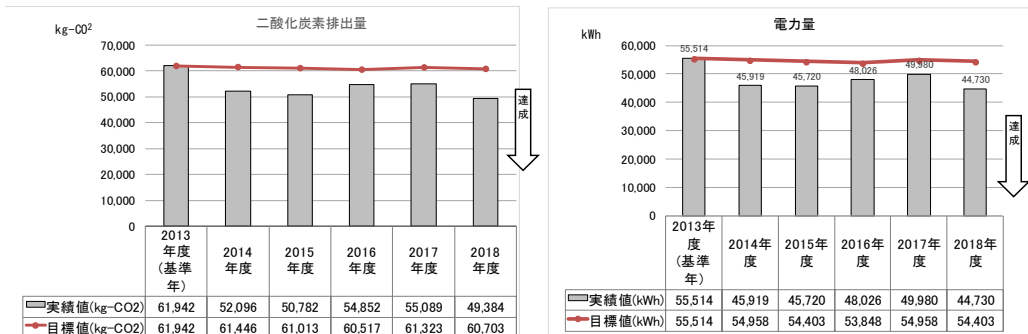
◇評価並びに次年度の取組内容◇

- 【二酸化炭素排出量削減】 電力、ガソリン、灯油各使用量全て削減率が目標値を上回った事から、目標値-2.0%と比較して実績値-20.3%となり、目標を達成出来た。前年度比でも-10.4%削減となった。今後も、二酸化炭素排出量削減に努めるものとする。
- 【電力量削減】 目標値-2.0%と比較し、実績値は-19.4%となり、目標を達成出来た。前年度比でも-10.5%削減出来、過去5年間の実績値で最小値となった。2018年度から諫早営業所移転に伴う営業所への社員常駐廃止等が影響しているものと思われる。なお、今後も電力量削減に努めるものとする。
- 【ガソリン使用量削減】 目標値-2.0%と比較し、実績値は-14.8%となり、目標を達成できた。また前年度比で-6.4%の削減となった。今後も、エコドライブ等に留意し、使用量削減に努めるものとする。
- 【灯油使用量削減】 目標値-2.0%と比較し、実績値は-39.3%となり、目標を達成できた。また前年度比で-15.2%減の大幅な減となった。冬季の暖房にエアコンが占める比率が増加した事により、使用量が削減出来たと推測しており、今後も前年度と同様の利用形態を継続する。

- 【廃棄物排出量削減】 廃棄物排出量に関しては、目標値-2.0%に対して実績値は-10.0%となり、目標を達成出来た。前年度比で-15.5%削減となった。今後も分別を強化しながら廃棄物削減を推進する。
- 【コピー用紙削減】 コピー用紙に関しては、目標値-2.0%に対して実績値は+9.9%となり、目標不達成であった。また、前年度比では、-18.0%削減となった。コピー用紙に関しては、業務受注量の増減により使用量も左右される事から、容易に削減出来るものではないが、印刷前プレビューや裏紙印刷、古紙リサイクルに努め、廃棄物排出量削減、コピー用紙削減に努めるものとする。
- 【総排水量削減】 目標値-0.2%と比較し、実績値は-9.1%となり、目標を達成できた。また、前年度比では、+5.6%の増加となった。今後も、節水に努めるものとする。
- 【グリーン購入の推進】 環境ラベルの付いたOA機器（パソコン、プリンター等）、文房具類（報告書用パイプファイル、コピー用紙等）、社用車（低排出ガス車認定車）を導入している。今後も、グリーン購入の推進を継続して進めるものとする。
- 【自社の製品・サービスに関する環境配慮】 設計業務に於いて、再生材使用を図面等に仕様として提案している。今後も、継続して環境に配慮した提案を継続するものとする。
- 【地域貢献活動】 年2回、愛護団体活動と清掃活動を行っている。今後も、継続して地域貢献活動を行うものとする。

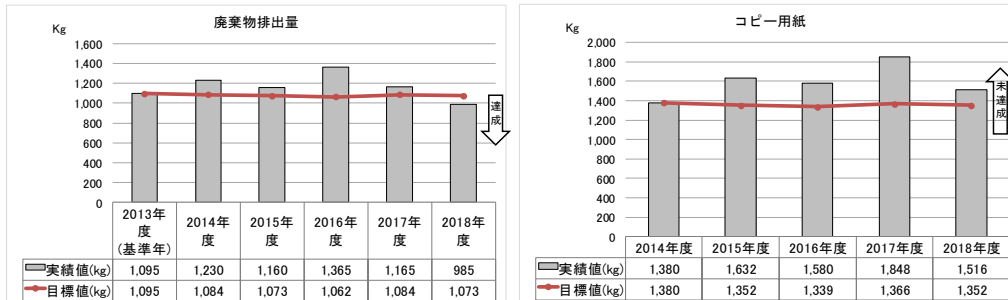
◇過去5年間の実績値をグラフにしてまとめました◇

1. 二酸化炭素排出量の削減



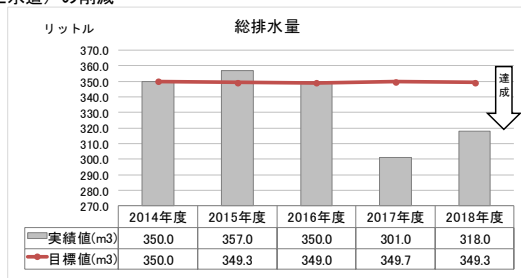
- 【基準値との対比】
- <目標達成>
 - ・二酸化炭素排出量：-20.3%
 - ・電力量：-19.4%
 - ・ガソリン使用量：-14.8%
 - ・灯油使用量：-39.3%
 - <目標未達成>
 - ・無し
- 【2017年度との対比】
- <減少>
 - ・二酸化炭素排出量：-10.4%
 - ・電力量：-10.5%
 - ・ガソリン使用量：-6.4%
 - ・灯油使用量：-15.2%
 - <増加>
 - ・無し

2. 廃棄物排出量の削減、コピー用紙削減



- 【基準値との対比】
- <減少>
 - ・廃棄物排出量：-10.0%
 - <目標未達成>
 - ・コピー用紙：+9.9%
- 【2017年度との対比】
- <減少>
 - ・廃棄物排出量：-15.5%
 - ・コピー用紙：-18.0%

3. 総排水量（上水道）の削減



- 【基準値との対比】
- <目標達成>
 - ・上水道：-9.1%
- 【2017年度との対比】
- <増加>
 - ・上水道：+5.6%

6. 2 環境経営活動の実績・取組結果とその評価

当社の環境経営活動と取組結果を次に示す。評価は、4段階に分け実施した。

◎良く出来た ○まずまず出来た △あまり良く出来なかった ×全く出来なかった

目標項目	取組項目	達成状況	評価(結果と今後の対策)
CO ₂ 排出量削減	昼休み時の電気消灯。	◎	2019年度も継続して実施する。
	洗面所未使用時の消灯。	◎	
	階段照明のこまめな消灯。	○	
	残業時の照明は、必要最小限度とする。	◎	
	個人での電力使用を控える。	◎	
	エアコン設定温度の一定化。	○	
	エアコン使用時間の制限	◎	
	不要な蛍光灯・電源の取り外し。	△	対策済み。
	よしず等で室内への熱遮断。	△	
	室内を仕切り、エアコン効率を上げる。	△	
	エアコン室外機への熱遮断対策など。	△	2019年度も継続して、実施する。
	外出時はパソコン電源オフを徹底。	○	
	退社時に、プリンター及びコピー機の電源オフ。	△	対策済み。
	パソコンの設定を省電力に変更する。	◎	2019年度も継続して実施する。
	社員のエレベータ使用抑制。	◎	
	ITコンフィル、年二回の清掃(6月及び12月)。	◎	
	急発進、急加速を控え、法定速度の遵守。	○	
長距離移動(県北振興局管内等)の場合、高速道路を利用する。(ETC設置の車に限定)	◎		
タイヤ空気圧の点検を定期的実施する。	○	定期的なオイル交換があまり良く出来なかった部署があったことから、タイヤ空気圧点検も含めて、車両管理者に是正を促す。	
オイル交換を定期的実施する。	○		
灯油消費量の抑制。	○	2019年度も継続して、実施する。	
廃棄物排出量削減 コピー用紙削減	社内資料はカラーでなく極力白黒にする	○	2019年度も継続して、実施する。
	印刷前にプレビューして、印刷内容を確認する。	○	
	コピー機及びプリンターの用紙は、コピー用紙の購入枚数を管理し、試用並びにチェック用は裏紙を使用する。	○	
	古紙については、「ながさきオフィスエコクラブ」に加入し、古紙リサイクルに協力する。	◎	
古新聞については、新聞販売店に回収を依頼。	○		
量削減 排水	手洗い水の節水。	○	
	水洗トイレの節水。	○	
ン 購 入	環境対応品を導入する(導入済み)。	○	対策済み。今後も継続して導入する。
環にサ 境関 配す 慮る 自 社 の	環境に配慮した設計を行う。	○	2019年度も継続して実施する。
貢地 献域	愛護団体活動に参加し、地域の清掃美化活動に取り組む。	◎	2019年度も愛護活動を継続し、地域清掃を実施する。

6. 3 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

- 1) 次年度の環境経営目標
- 2) 次年度の環境経営計画
4. 環境経営目標(2017年度～2019年度)に示す。
5. 環境経営活動(2017年度～2019年度)に示す。

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

環境関連法規	該当項目	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条、第12条第5項 許可業者への委託	○	2019/3/29
	第6条の2第6項 一般廃棄物の処理	○	2019/3/29
	法第12条第6項 令第6条の2 則第8条の4、4の2、4の3 委託基準の遵守	○	2019/3/29
長崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	第7条：事業者の責務	○	2019/3/29
騒音規制法	第14条、第15条 特定建設作業に関する規制	○	2019/3/29
振動規制法	第14条、第15条 特定建設作業に関する規制	○	2019/3/29
フロン排出抑制法	法第16条1項 H26 経産・環境省告示13号	○	2019/3/29

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去1年間ありません
また、環境に関する外部からの苦情や訴訟は、ありません。

なお、騒音規制法や振動規制法に関しては、設計成果品の施工計画の立案等において、工法・工事用
重機等の選定にあたり、当該法規を考慮していることから、掲載しております。

2019年6月3日

環境管理責任者

口石 敏政

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

ea21活動については、実施5年目を終えた。社員一人ひとりがエコ意識を持って活動してきた成
果もあり、電力量、ガソリン使用量、灯油使用量、廃棄物排出量、総排水量（上水道）に関しては
削減目標を上回り、Co2削減の目標値を上回る成果を上げた。コピー用紙に関しては目標値を下
回ったものの、総合的に見て環境経営システムは適切に運営されている。

2019年の活動においても、現在の環境経営システムを継続するものとする。

2019年6月3日

株式会社オリエントアイエヌジー

代表取締役 中島 靖人